

目次 CONTENTS

- 2 話題「長泥行政区の新たな一歩」
- 4 特集「いいたてで生まれる新しい風」
- 10 学びの広場「いいたてっ子運動会」
- 12 **NEW!** 空から百景「大火山のツツジ」
- 14 お知らせ「固定資産評価審査委員」ほか
- 15 ほけんとふくし「ワクチン接種」
- 16 いいたて便り
- 18 話題のパレット
- 19 村からお知らせ
- 20 いいたてイノサル通信
- 21 お知らせ／ふれあい館だより
- 22 いいたてDIARY／村民広報委員コラム
- 23 ひとのうごき ほか
- 24 ほっとNEWS ほか



今月の表紙

5月25日、森永正男さん(前田・八和木)の水田で、いいたて希望の里学園の前期課程の児童が、田植えを体験しました。粘土質の泥に足を取られながらも、みんなとても楽しそう。心を込めて苗を植えていました。ウグイスも盛んに鳴いて、みんなの頑張りを応援していましたね。村民ボランティアの皆さん、温かなサポートをありがとうございました。

避難指示解除から一歩を踏みしめて

5月1日 長泥地区の特定復興再生拠点区域等の避難指示が解除されました

新しいコミセンで落成式
住民の笑顔が集いました

5月1日、長泥地区の特定復興再生拠点区域及び区域外に整備した『長泥曲田公園』の避難指示が12年ぶりに解除されました。当日は関係者の他、多くの住民が現地を訪れ、ふるさとの新たな一歩を見守りました。また、同月21日には、新しい『長泥コミュニティーセンター』で、行政区が落成式を開催。より多くの住民が新施設に集い、ふるさとでの再会を喜び合いました。

5月1日 避難指示解除

避難指示解除の刻限5月1日の午前10時から、地区の入口に設けられていた6か所のバリケードが順次開放され、許可証不要の通行が再開しました。続いて『長泥コミュニティーセンター』では竣工式が行われ、杉岡村長が「自分達の手でふるさとを再生していこうという長泥の皆さんの気持ちに寄り添えるよう施策を考えていきたい」と共に歩む決意を語りました。



行政区の皆さんが落成式に集う



5月21日には、行政区が『長泥コミュニティーセンター』の落成式を開催。来賓を合わせて77人が参加して、記念の植樹も行いました。

コロナ禍の影響で交流会が休止されていたこともあり、式後の会食の席では、「久しぶり、元気だったの」と近況報告に一層花が咲きました。宴もたけなわになると、参加していたおばあさんがマイクで歌い出し、それに合わせて踊る人もいて、会場は懐かしさいっぱい盛り上がりました。



IAEAとの意見交換会

5月9日、IAEA(国際原子力機関)が長泥地区を視察し、村や住民と意見を交わしました。出席した住民4人は「マイナスからゼロに戻すため必死に頑張っている。私達のような辛い思いをする人はもう出してほしくない」「ふるさとを投げ出さなくて12年間通っていた。花を育て皆さんに来てもらえる環境をつくっていききたい」などそれぞれの思いを伝えました。発言を受けIAEAの委員は「心に届いた」「苦勞を耐え忍んだ強靱さを尊敬する。力になりたい」と話していました。

